



## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	06-8754-1	版	11.02
発行日	2024/01/17	前発行日	2023/11/20

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

スチームオープン専用クリーナー

#### 3M スtockナンバー

JN-3300-7925-0 JN-3300-7928-4

7010687582 7010687583

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

オープンクリーナー

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コマーシャルブランディング&トランスポートーション技術部
電話番号	0570-012-388

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1

皮膚腐食性/刺激性： 区分1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

#### GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

腐食性 感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
H336 眠気又はめまいのおそれ  
H402 水生生物に有害

注意書き

安全対策

P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
P280D 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
P264 取扱後はよく洗うこと。  
P273 環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。  
P303 + P361 + P353A 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。  
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
P310 直ちに医師に連絡すること。  
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
P321 特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。  
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

保管

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

胃腸への腐食のおそれ。

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	40 - 70
プロピレングリコール	57-55-6	15 - 40
炭酸カリウム	584-08-7	3.0 - 7.0
ベンジルアルコール	100-51-6	5.0
モノエタノールアミン	141-43-5	2.0
アルキル (C10-14) ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	1.6
有機溶剤	営業秘密	0.5 - 1.5

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。付着した衣類は脱ぐ。直ちに医療機関を受診する。衣類は再使用する前に洗濯する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

製品は燃焼しない。不燃性。周辺火災に適した消火剤を使用する。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

**環境に対する注意事項**

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

漏洩を止める。多量の水で希釈する。スルファミン酸又は酢酸等を希釈した物を注意深く攪拌しながら添加する。中和されたことを確認する。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。ポリエチレンがコートしてある金属容器に収納し、シールする。水で残さを清浄する。被覆する。48時間以上密封してはいけない。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

熱した材料に触れないこと。工業用又は業務用。消費者用途への販売、使用禁止。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

**保管**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。酸から離して保管する。

**8. ばく露防止及び保護措置****管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
ベンジルアルコール	100-51-6	AIHA	TWA:44.2 mg/m <sup>3</sup> (10 ppm)	
ベンジルアルコール	100-51-6	JSOH OELs	CEIL:25 mg/m <sup>3</sup>	皮膚感作性のおそれ。
モノエタノールアミン	141-43-5	ACGIH	TWA : 3ppm、STEL : 6ppm	
モノエタノールアミン	141-43-5	JSOH OELs	TWA (8時間) : 7.5 mg/m <sup>3</sup> (3 ppm)	
プロピレングリコール	57-55-6	AIHA	TWA(エアロゾルとして):10 mg/m <sup>3</sup>	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA：時間加重平均値  
 STEL：短時間ばく露限界値  
 ppm：百万分率  
 mg/m<sup>3</sup>：ミリグラム/立方メートル  
 CEIL：天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

加熱する場合は適切な局所排気装置を使用する。 空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

## 保護具

### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。 ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

### 熱危険性

やけどを防ぐため、この製品を取り扱う際は、耐熱手袋を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態：	水溶性液体
色	透明黄色。
臭い	プロピレングリコール

臭いの閾値	データはない。
pH	12.4
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	データはない。
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	1.074 [参照基準:水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	< 100 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	55 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

知見はない。

#### 混触危険物質

知見はない。

#### 危険有害な分解物

##### 物質

アルデヒド

一酸化炭素

##### 条件

特段の規定はない。

特段の規定はない。

二酸化炭素  
窒素酸化物

特段の規定はない。  
特段の規定はない。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

### 毒性学的影響に関する情報

#### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

#### 吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚薬傷（化学性腐食）：発赤、腫脹、かゆみ、痛み、水疱形成、潰瘍形成、か皮形成、瘢痕形成などの症状。

#### 眼に入った場合

化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）：角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

#### 飲み込んだ場合

胃腸への腐食作用：口、喉、腹部の激しい痛み、吐き気、むかつき、下痢、血便、嘔吐などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

### その他健康影響情報

#### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制：頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い場合があります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－粉塵 /ミスト(4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。12.5 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg

スチームオープン専用クリーナー

プロピレングリコール	皮膚	ウサギ	LD50 20,800 mg/kg
プロピレングリコール	経口摂取	ラット	LD50 22,000 mg/kg
炭酸カリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ベンジルアルコール	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 8.8 mg/l
ベンジルアルコール	経口摂取	ラット	LD50 1,230 mg/kg
炭酸カリウム	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.58 mg/l
炭酸カリウム	経口摂取	ラット	LD50 1,870 mg/kg
モノエタノールアミン	吸入-蒸気	公的な 分類	LC50 推定値 10 - 20 mg/l
モノエタノールアミン	皮膚	ウサギ	LD50 2,504 mg/kg
モノエタノールアミン	経口摂取	ラット	LD50 1,089 mg/kg
有機溶剤	吸入-蒸気	専門家 による 判断	LC50 推定値 > 50 mg/l
有機溶剤	皮膚	ラット	LD50 > 4,000 mg/kg
有機溶剤	経口摂取	ラット	LD50 2,050 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
プロピレングリコール	ウサギ	刺激性なし
ベンジルアルコール	多種類の 動物種	軽度の刺激
炭酸カリウム	ウサギ	わずかな刺激
モノエタノールアミン	ウサギ	腐食性
有機溶剤	ウサギ	腐食性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
プロピレングリコール	ウサギ	刺激性なし
ベンジルアルコール	ウサギ	激しい刺激
炭酸カリウム	ウサギ	腐食性
モノエタノールアミン	ウサギ	腐食性
有機溶剤	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
プロピレングリコール	ヒト	区分に該当しない。
ベンジルアルコール	ヒト及び 動物	区分に該当しない。
モノエタノールアミン	モルモッ ト	区分に該当しない。
有機溶剤	ヒト及び 動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
プロピレングリコール	In vitro	変異原性なし
プロピレングリコール	In vivo	変異原性なし
ベンジルアルコール	In vivo	変異原性なし
ベンジルアルコール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
モノエタノールアミン	In vitro	変異原性なし
モノエタノールアミン	In vivo	変異原性なし
有機溶剤	In vitro	変異原性なし
有機溶剤	In vivo	変異原性なし

### 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
プロピレングリコール	皮膚	マウス	発がん性なし
プロピレングリコール	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
ベンジルアルコール	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし

### 生殖毒性

#### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロピレングリコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 10, 100 mg/kg/日	2世代
プロピレングリコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 10, 100 mg/kg/日	2世代
プロピレングリコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1, 230 mg/kg/日	器官発生期
ベンジルアルコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 550 mg/kg/日	器官発生期
モノエタノールアミン	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 225 mg/kg/日	器官発生期
モノエタノールアミン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 450 mg/kg/日	器官発生期
有機溶剤	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1, 000 mg/kg/日	1世代
有機溶剤	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1, 000 mg/kg/日	1世代
有機溶剤	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	1世代

### 標的臓器

#### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロピレングリコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分に該当しない。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	

ベンジルアルコール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。		NOAEL 非該当	
ベンジルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
ベンジルアルコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。		NOAEL 非該当	
炭酸カリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。		NOAEL 非該当	
モノエタノールアミン	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
有機溶剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロピレングリコール	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1,370 mg/kg/day	117 日
プロピレングリコール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 5,000 mg/kg/day	104 週
ベンジルアルコール	経口摂取	内分泌系   筋肉   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/day	13 週
ベンジルアルコール	経口摂取	神経系   呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 645 mg/kg/day	8 日
モノエタノールアミン	吸入した場合	造血器系   肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.1559 mg/l	28 日
モノエタノールアミン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 0.0102 mg/l	28 日
モノエタノールアミン	吸入した場合	心臓   内分泌系   免疫システム   神経系   眼   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.1559 mg/l	28 日
モノエタノールアミン	経口摂取	造血器系   肝臓   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	
有機溶剤	経口摂取	肝臓   造血器系   眼   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 492 mg/kg/day	90 日
有機溶剤	経口摂取	心臓   内分泌系   消化管   免疫システム   神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場

合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
プロピレングリコール	57-55-6	端脚類	実験	10 日	LC50	6,983 mg/kg（乾燥重量）
プロピレングリコール	57-55-6	緑藻類	実験	96 時間	EC50	19,000 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	アミ	実験	96 時間	LC50	18,800 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	40,613 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	18,340 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	15,000 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	13,020 mg/l
プロピレングリコール	57-55-6	バクテリア	実験	18 時間	NOEC	>20,000 mg/l
炭酸カリウム	584-08-7	ニジマス	実験	96 時間	LC50	68 mg/l
炭酸カリウム	584-08-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	200 mg/l
有機溶剤	営業秘密	液状化	実験	30 分	EC50	250 mg/l
有機溶剤	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	EC50	6.2 mg/l
有機溶剤	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	17.8 mg/l
有機溶剤	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	7.59 mg/l
有機溶剤	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	3.24 mg/l
有機溶剤	営業秘密	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	2.5 mg/l
有機溶剤	営業秘密	ゼブラフィッシュ	実験	35 日	NOEC	0.91 mg/l
アルキル（C10-14）ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	1.67 mg/l
アルキル（C10-14）ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	29 mg/l

アルキル (C10-14)ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.62 mg/l
アルキル (C10-14)ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	該当なし	実験	7 日	NOEC	0.84 mg/l
アルキル (C10-14)ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	ブラックワーム (蠕虫)	実験	28 日	NOEC	81 mg/kg (乾燥重量)
アルキル (C10-14)ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	ブルーギル	実験	28 日	NOEC	1 mg/l
アルキル (C10-14)ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	0.5 mg/l
アルキル (C10-14)ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	ニワトリ	実験	45 日	NOEC	200 ppm 摂取
アルキル (C10-14)ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	シマミミズ	実験	14 日	LC50	>1,000 mg/kg (乾燥重量)
アルキル (C10-14)ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	モロコシ	実験	21 日	EC50	167 mg/kg (乾燥重量)
ベンジルアルコール	100-51-6	液状化	実験	3 時間	EC50	1,385 mg/l
ベンジルアルコール	100-51-6	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	460 mg/l
ベンジルアルコール	100-51-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	770 mg/l
ベンジルアルコール	100-51-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	230 mg/l
ベンジルアルコール	100-51-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	310 mg/l
ベンジルアルコール	100-51-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	51 mg/l
モノエタノールアミン	141-43-5	珪藻	実験	72 時間	ErC50	198 mg/l
モノエタノール	141-43-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	2.5 mg/l

ルアミン						
モノエタノールアミン	141-43-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	105 mg/l
モノエタノールアミン	141-43-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	27.04 mg/l
モノエタノールアミン	141-43-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1 mg/l
モノエタノールアミン	141-43-5	メダカ	実験	41 日	NOEC	1.24 mg/l
モノエタノールアミン	141-43-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.85 mg/l
モノエタノールアミン	141-43-5	液状化	実験	30 分	IC50	>1,000 mg/l
モノエタノールアミン	141-43-5	植物	実験	21 日	EC50	1,290 mg/kg (乾燥重量)
モノエタノールアミン	141-43-5	シマミミズ	実験	35 日	LC50	3,715 mg/kg (乾燥重量)
モノエタノールアミン	141-43-5	トビムシ	実験	28 日	LC50	1,893 mg/kg (乾燥重量)

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロピレングリコール	57-55-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
プロピレングリコール	57-55-6	実験 生分解性	64 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	95.8 DOC除去%	OECD テストガイドライン306 (海水中生分解性試験)
炭酸カリウム	584-08-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
有機溶剤	営業秘密	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	81 %BOD/ThOD	OECD 301F
アルキル (C10-14) ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	94 DOC除去%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
ベンジルアルコール	100-51-6	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	94 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
モノエタノールアミン	141-43-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	80 CO2発生量/理論CO2発生量%	
モノエタノールアミン	141-43-5	実験 生分解性	21 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	>90 DOC除去%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
モノエタノールアミン	141-43-5	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	5.5 時間 (t 1/2)	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロピレングリコール	57-55-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.07	EC A.8 Partition Coefficient
炭酸カリウム	584-08-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
有機溶剤	営業秘密	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.5	
有機溶剤	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.15	EC A.8 Partition Coefficient
アルキル (C10-14) ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	実験 BCF - 魚	192 時間	生物濃縮係数	87	OECD305-生体濃縮度試験
アルキル (C10-14) ベンゼンスルホン酸	69669-44-9	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.32	
ベンジルアルコール	100-51-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.10	
モノエタノールアミン	141-43-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-2.3	OECD107 log Kow フラスコ振騰法

#### 土壌中の移動性

データはない。

#### オゾン層への有害性

データはない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

### 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1760 その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)

輸送分類 (IMO) : 8 腐食性物質

輸送分類 (IATA) : 8 腐食性物質

容器等級：I

## 国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

## 国内法規制及び関連情報

## 日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

化管法：第 1 種指定化学物質

船舶安全法、航空法：腐しよく性物質

## 主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
ベンジルアルコール	ベンジルアルコール	該当	該当
モノエタノールアミン	2-アミノエタノール	該当	該当

## 化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
アルキル（C10-14）ベンゼンスルホン酸	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）	30	第1種指定化学物質
モノエタノールアミン	2-アミノエタノール	20	第1種指定化学物質

## 16. その他の情報

## 改訂情報

セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。